

# 参加レポート

ユン ジェホ

## 1. 概要

- 1) 名 称 : 老人病院競争力戦略シンポジウム2007
- 2) 開催期間 : 2007年9月16日(日)
- 3) 主 催 : Changwon Heeyoun病院, Jinyoung Hanseo病院, Busan Hyorim病院
- 4) 主 管 : 大韓老人病院協会、大韓老人保健医療福祉学会、Yonsei医療福祉フォーラム
- 5) 場 所 : Changwon convention center

## 2. 内容

老人長期療養保険を控えている時点で老人病院の運営方向について政策的方向性を知ることができた。

「老人長期療養保険の見込み(Jang Byung-Won)」を通じて老人長期療養保険の方向に対して聞くことができた。「日本の介護保険制度と病院経営；保健医療福祉複合体を中心に(二木立)」を通じて介護保険以後の複合体に対する説明だけでなく、リハビリ医療施設のリハビリにおいて「根拠に基づいた」サービスに対して説明を聞くことができた。また、小倉リハビリテーション病院の事例を通じて老人介護サービスにおいてリハビリサービスの方向、その中でもノーマライゼーションに関するを置いた普遍的な生活に焦点を置いたリハビリサービスは介護保険中で運営される日本病院の運営戦略だけでなく、「根拠に基づいた」サービスの事例を見たきっかけになった。

シンポジウムを通じて韓国の老人病院及び保健医療関連関係者たちとの人的ネットワークを作った。特にデジョン<sup>1</sup>で運営される老人病院関係者たちとの出会いを通じて、9月21日(金)と22日(土)両日間にかけて100ベッドの老人病院と温泉を老人病院一緒に運営する病院に見学することができた。

## 3. 結論

病院運営の突破口の拡充及び老人長期療養保険の実施による期待によって老人病院は2000年全国32ヶ所から2006年275ヶ所に急に膨張した<sup>2</sup>。もう供給が需要を追い越したと判断されている<sup>3</sup>。ここに競争力強化のために全国の関係者たちが集まるようになり、日本の事例及び韓国の現象に対する理解を深めたきっかけになった。

---

<sup>1</sup> 現在私の家がある都市、帰国すればデジョン地域を中心にして活動するつもり

<sup>2</sup> 大韓老人病院協会(2006), 2007年9月全国541ヶ所

<sup>3</sup> Jang Byoung-Won、本シンポジウムで発表